

質 問

定期バスを永生クリニックまで 乗り入れできないか

内田精彦 議員

町長 要望を受けており、運行が可能か
検討している



バス乗り入れ要望の永生クリニック

多くの患者から要望がある奥出雲交通の定期バスを、永生クリニックまで乗り入れできないか、永生クリニックへのバスの乗り入れについては、昨年の12月に要望を受けている。奥出雲交通などと現地確認し、運行経路の安全性や車両の回転場の確保や運行が可能か検討している。



本町の医療機関の診察時間、夜間対応等について、把握しているのか。
内田健康づくり推進課長

本町の医療機関は、町立奥出雲病院と9つの診療所、4つの歯科診療所5つの薬局がある。町内で利用できる在宅医療や介護サービスを提供した「医療と介護資源マップ」を今月末に各自治会へ回覧する。

高齢者と弱者対策として、医療機関専用の交通サポート券は考えられないか。

奥出雲町の高齢者のタクシー利用事業の実績では現在23・6%の利用率であり、これの普及を図っていききたい。また、高齢者の生活交通サポート事業についても、また35%余りであり、一層の促進を図る必要がある。
2月23日発生の事故による、出雲、雲南、奥出雲での停電時間、あるいは復旧時間等について把握しているのか。

川本総務課長

工事作業員が感電し、その救助に伴う緊急の送電停止があり、午後2時25分、奥出雲町全域で停電した。復旧は美女原の三成変電所より逐次行われ、午後3時26分に町内全域で復旧した。

停電による影響被害の把握をしているのか。

川本総務課長
各所からの停電による被害報告はなかった。

停電に対し、役場から町民に情報伝達したのか。

川本総務課長
今回の場合は時間的な事もあり、具体的に町民への情報伝達は行っていない。

停電時に利用できるデジタル無線をまさに、こういうときに使ってシステムを稼働させるべきだ。なぜ使用しなかったのか。

川本総務課長
今回の停電は中国電力と奥出雲町との連絡が十分でなかった。情報伝達



横田庁舎の遠隔制御装置

がうまくいかなかったことが、大きな原因であった。今後は中電にも十分に話をしながら、非常時の場合に町としていち早く放送するように努める。
町内の地震計はいくつあるのか、設置場所は、川本総務課長
震度情報観測計は、仁多庁舎敷地内と、横田庁舎敷地内の2カ所。ほかに国立の研究開発法人防災科学技術研究所の高感度地震観測計が亀島地内の玉峰山荘の敷地内にある。計3カ所だ。